

ふれあい 生きあい ささえあい



○8月15日の敗戦が半年前であったならと、あらめ歴史を考える○

●熱い熱い夏がまためぐってきた。7月14日の広島高裁判決を見れば、76年だった今も「黒い雨」から逃れられぬ人や遺族がいたとわかる——たとえ最後の一人となっても、「玉砕死へのロマン」を竹槍に託せと煽り立てた人たちが、この夏はコロナ戦のもと、東京五輪のロマンへと人を駆り立てる。彼岸と此岸のこの国のリーダーたちである。

半年早い聖断決断があれば、東京大空襲はじめ各地の焦土化、沖縄地上戦での大量殺戮と集団自殺、ヒロシマ、ナガサキを襲った原爆など、数十万人にもおよぶ無辜無残無念の死はなかった。かつての戦争の惨禍を、今コロナ禍への対応のなかで、すぐできることをすぐやらず、市民を監視と反目へと向かわせるこの国の政治をあわせ考えてみる。

○大人と子どもの遊びば学びば《土曜びばカフェ》のご案内○

●本年度第2回の《土曜びばカフェ》は、「英語でクッキング」です（いわゆる「子ども食堂」も兼ねるこの行事には、大津市社会福祉協議会から「寺子屋プロジェクト」としての補助金がでます）。

内容 英語学習のアクティビティ → あなただけの「おにぎらず」づくり → ごはんとおかずをいろいろと自分流に組み合わせサンド風にいただきます → 後片付け → 探求学習や宿題

日時 2021年8月28日（土）10時30分～14時

会場 コミュニティセンター（市民センター）調理室と隣の会議室

指導 足立英子さん+アメリカ人アシスタント+ボランティア

定員 小学生・中学生9人です（コロナの影響により調理台1台につき3人までとします。子どもたちの親は参加自由です）。

申込み 申込者のお名前、年齢（親は不要）、住所、電話番号、ひとことコメントなどをコミセン事務室まで。参加無料。

★夏休みに入り、お盆も過ぎて、コロナへの対応がどうなるのか予測もつかないなかで、実施するか中止か、8月20日頃には応募者にお知らせします。

○今月のお知らせ○

●子育てが大変なひとり親のご家庭に、ささやかな応援ですが一人当たり1000円（500円券2枚）の食事券を今月も差し上げます。親子でのほのほのお食事風景を見せてください。地域の飲食店への応援も兼ねて、協力店舗は、南山、伊東屋、nest、Osanpo-cafe、風子、ピオキエド（持ち帰りも含めて）です。希望される方は学区社協か民生委員まで。

●「赤い羽根ミニバザー」として7月のコミセンマーケットに参加しました。「なんでも10円市」「100円コーナー」と「古本市」で、売上は計2,890円でした。9月も参加しますので、ご不用品ありましたらご提供ください（529-0149 楠本）。

●8月のにこにこキッズは（0歳からの未就園親子の集い）4日（水）10時～11時半、〈市民センター〉の裏庭で。シャボン玉や寒天・色水あそびなど、夏の遊びを楽しみます。

●8月のさわやかクラブは18日10時から食事を挟んで午後1時半ごろまで、自治会館《やまびこ》で。「いつまでも健康で元気に」がテーマ。血圧測って手遊び（時には保健師の話とか体操なども）、ボランティア手作りのお昼をいただいた後はコーヒーなど飲みながらのんびりおしゃべり。

●8月のふれあいサロンは25日に《住民交流センター》で10時から午後1時半ごろまで。楠一輝さんの指導で生け花のお稽古から始まり、お昼はスタッフによる手作りのご馳走です。食後は、コーヒー、紅茶などを飲みながらの気ままなおしゃべりや歌や誕生日会を楽しみます。希望者には送迎も。



7月のにこにこキッズ